



運用実績

2010年6月末日現在

運用実績の推移



ファンドの概要

- 商品分類 追加型投信／内外／株式
- 信託設定日 2007年2月23日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則11月28日
(休業日の場合は翌営業日)
- 信託報酬 年率1.2075%
(税抜1.15%)

基準価額・純資産総額

基準価額	4,695円
(前月末比)	-281円
純資産総額	29.8億円
(前月末比)	-3.3億円

分配実績(税引前)

(過去5期分)

第1期	2007.11.28	0円
第2期	2008.11.28	0円
第3期	2009.11.30	0円
第4期	2010.11.29	-
第5期	2011.11.28	-

設定来累計 0円

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

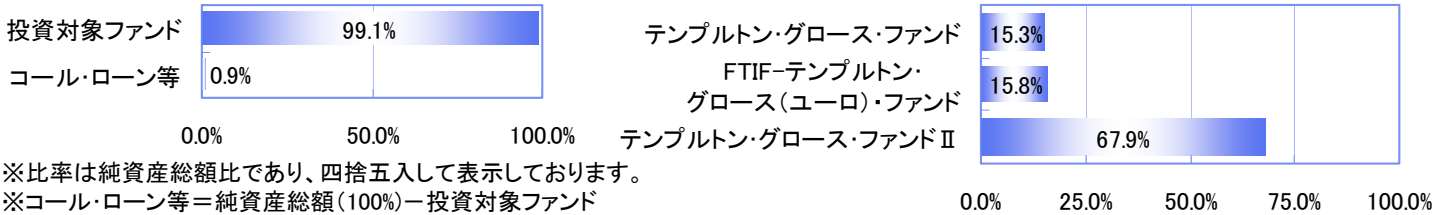
期間別騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年	設定来
ファンド	-5.65%	-17.03%	-16.09%	-0.87%	-36.14%	-55.71%	-53.05%

※ファンドの騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものと計算しております。したがって、騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。
 ※騰落率は、当資料作成基準日から各期間の応当日にさかのぼって計算しております。
 ※基準価額の計算に当たっては信託報酬を控除してあります。
 ※基準価額および分配金は1万口当たりの額です。
 ※騰落率は四捨五入して表示しております。

ポートフォリオの状況

2010年6月末日現在



※比率は純資産総額比であり、四捨五入して表示しております。
 ※コール・ローン等＝純資産総額(100%)－投資対象ファンド

投資対象ファンドの資産内容 (資産別組入状況)

2010年6月末日現在(現地)

	純資産	株式	債券	短期金融商品その他	計
<米国籍> テンプレートン・グロス・ファンド	1兆4,002億円	99.3%	0.0%	0.7%	100.0%
<ルクセンブルグ籍> FTIF-テンプレートン・グロス(ユーロ)・ファンド	4,841億円	96.3%	0.9%	2.8%	100.0%
<ケイマン籍> テンプレートン・グロス・ファンドII	23億円	95.5%	0.0%	4.5%	100.0%

※比率は四捨五入をしておりますので、合計数字が一致しない場合があります。
 ※純資産は、本邦月末基準の三菱東京UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値で円換算。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベスツメント株式会社作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面」および「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡しますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

◆投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・ファンドのお申込みは

◆設定・運用は

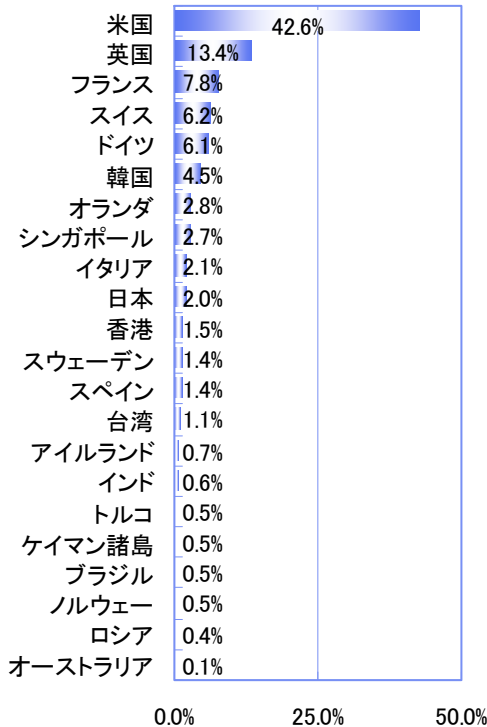
フランクリン・テンプレートン・
インベスツメント株式会社

投資対象ファンドの資産内容 (株式組入状況)

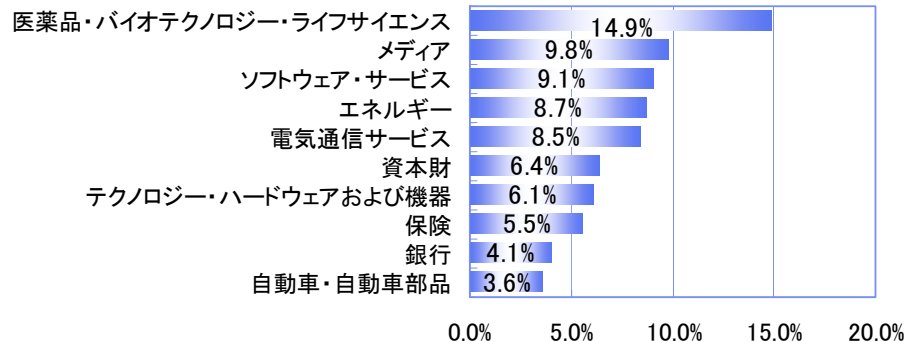
テンプレートン・グロース・ファンド <米国籍>

2010年6月末日現在(現地)

●株式組入比率(国・地域別)



●株式組入上位10業種



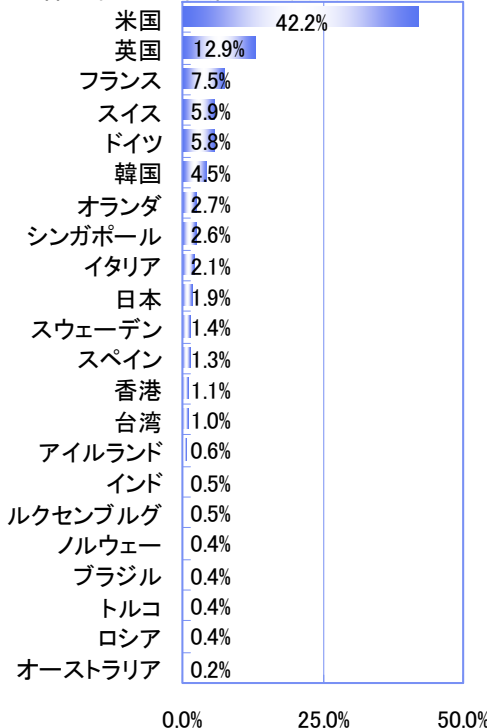
●株式組入上位10銘柄

銘柄名	国名	比率
ACCENTURE PLC	米国	2.8%
ORACLE CORP	米国	2.8%
MICROSOFT CORP	米国	2.5%
AMGEN INC	米国	2.4%
PFIZER INC	米国	2.3%
SIEMENS AG	ドイツ	2.1%
VODAFONE GROUP PLC	英国	2.1%
COMCAST CORP	米国	2.0%
SANOFI-AVENTIS	フランス	2.0%
GLAXOSMITHKLINE PLC	英国	1.9%

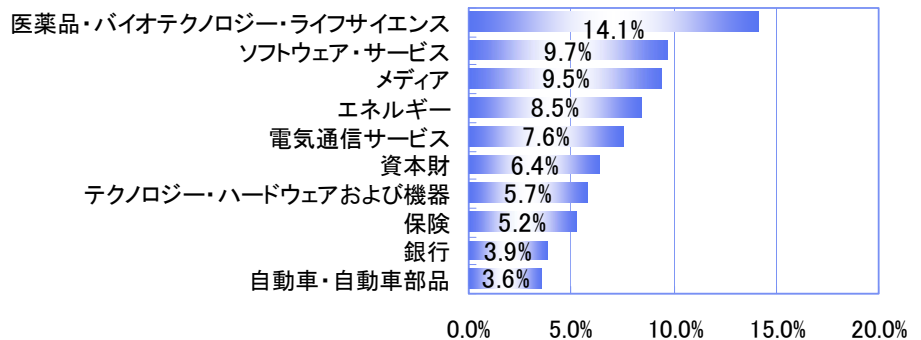
FTIF-テンプレートン・グロース(ユーロ)・ファンド <ルクセンブルグ籍>

2010年6月末日現在(現地)

●株式組入比率(国・地域別)



●株式組入上位10業種



●株式組入上位10銘柄

銘柄名	国名	比率
ACCENTURE PLC	米国	3.0%
ORACLE CORP	米国	2.9%
MICROSOFT CORP	米国	2.7%
AMGEN INC	米国	2.4%
PFIZER INC	米国	2.1%
SIEMENS AG	ドイツ	2.0%
VODAFONE GROUP PLC	英国	1.8%
SANOFI-AVENTIS	フランス	1.8%
COMCAST CORP	米国	1.8%
GLAXOSMITHKLINE PLC	英国	1.8%

※業種分類は、スタンダード&プアーズとMSCIが共同で開発した「世界産業分類基準(GICS)」の24の産業グループを使用しております。

※比率は純資産比であり、四捨五入して表示しております。

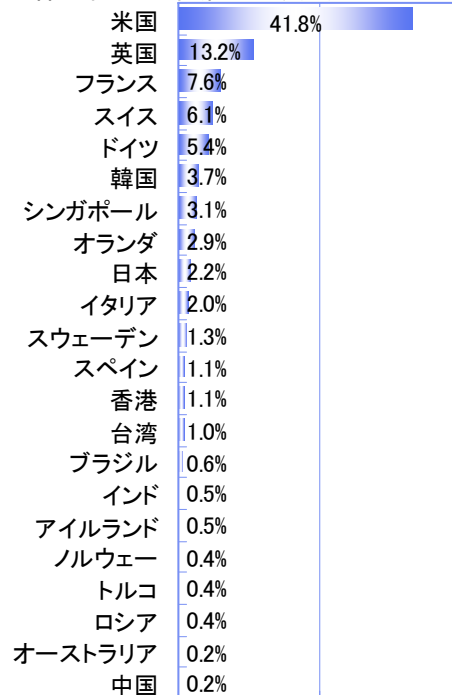
※組入銘柄につきましては「<参考情報>投資対象ファンドの組入銘柄について」も併せてご参照下さい。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面」および「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡しますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

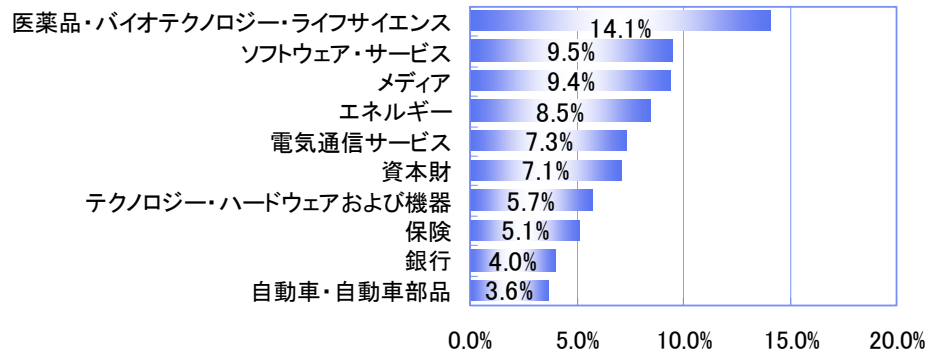
テンプレートン・グロース・ファンドⅡ <ケイマン籍>

2010年6月末日現在(現地)

●株式組入比率(国・地域別)



●株式組入上位10業種



●株式組入上位10銘柄

銘柄名	国名	比率
ACCENTURE PLC	米国	2.9%
ORACLE CORP	米国	2.8%
MICROSOFT CORP	米国	2.7%
AMGEN INC	米国	2.4%
NOVARTIS AG	スイス	2.0%
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS LTD	シンガポール	2.0%
SIEMENS AG	ドイツ	1.9%
VODAFONE GROUP PLC	英国	1.9%
PFIZER INC	米国	1.8%
SANOFI-AVENTIS	フランス	1.8%

※業種分類は、スタンダード&プアーズとMSCIが共同で開発した「世界産業分類基準(GICS)」の24の産業グループを使用しております。
※比率は純資産比であり、四捨五入して表示しております。

※組入銘柄につきましては「<参考情報>投資対象ファンドの組入銘柄について」も併せてご参照下さい。

運用の状況

当月末(2010年6月30日)の基準価額は、前月末(4,976円)から281円値下がりして4,695円となりました。値下がりの主な要因は、世界の株式市場の下落を受けて投資対象ファンドの基準価額(米ドルベース)が値下がりにしたこと、および米ドルが円に対して下落したことです。当月末の当ファンドの純資産総額は、29.8億円となりました。

<ご参考:投資対象ファンドの運用担当者のコメント(2010年6月)>

2010年4-6月期の世界の株式市場は欧州諸国などの財政問題や世界的な景気回復に対する楽観論の後退などから全般に不安定な展開となり、当四半期末の株価は多くの市場で前四半期末の水準を下回りました。4月は概ね堅調に始まったものの、南欧諸国の信用不安が再燃したことなどから中旬以降は下落に転じました。5月中旬に欧州連合(EU)主導で打ち出されたユーロ圏諸国向け緊急融資制度などのユーロ防衛策や株価水準に対する割安感などを好感した買いなどを背景に、6月中旬にかけて株価は全般に反発しました。しかし、その後、6月下旬に発表された5月の米国の住宅販売件数が新築、中古ともに予想を大きく下回ったことや、格付機関がスペインの信用格付けを引き下げ方向で見直すことを明らかにしたことなどから、欧米市場を中心に株価は再び下落しました。当四半期に発表された経済指標は、強弱まちまちの結果となりました。国際通貨基金(IMF)は2010年の世界経済の成長率見通しを上方修正しました。また、製造業の生産活動は全体的に拡大が続いたものの、労働市場は力強さに欠け、米国では住宅の新規購入者に対する減税措置が終了した影響から住宅市場は急速に冷え込みました。企業の収益性や業績モメンタムの持続力に対する懸念は強まりつつあるものの、ファンダメンタルズは全般に良好で、発表された企業決算の多くが事前の予想を上回りました。

外国為替市場では、欧州信用不安に対する根強い警戒感や世界的な景気回復に対する楽観論の後退などを背景にリスク回避指向が強まり、相対的に安全な通貨と見なされた円がユーロや米ドルなどの他の主要通貨に対して上昇基調となりました。ユーロは主要通貨の中でも下落基調が顕著となり、6月中旬以降はやや持ち直したものの、一時は米ドルに対して2006年来の水準まで下落しました。

最近の株式市場はマクロ経済の動向に左右され易い状態にあるため、企業ファンダメンタルズと株価バリュエーションを重視する投資家にとっては困難な投資環境が続いているものと思われます。しかし、このような個別企業のファンダメンタルズが株価に適正に反映されていない状況においては、ファンダメンタルズ重視の長期投資家にとって魅力的な投資機会が生じつつあると考えます。欧州株式は当面、不安定な動きが続く可能性はあるものの、株価収益率(PER)や株価純資産倍率(PBR)などのバリュエーション指標でみると、欧州企業の株価は世界的にみて低水準にあります。世界の金融システムは依然として不安定であり、この状況は各国政策当局や投資家にとって重石となっていると思われます。しかし、企業のファンダメンタルズが良好であることも踏まえると、長期的投資の観点から有望な投資環境が整ってきていると考えます。

※上記コメントは、投資対象ファンドの運用担当者が作成したコメントの抜粋です。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメント株式会社で作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面」および「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

ファンドの特色

- 1** 当ファンドは、テンプレートン・グローバル・アドバイザーズ・リミテッド(TGAL)が運用する3つの外貨建て投資信託証券(投資対象ファンド)を通じて、主として世界各国の株式に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指します。

 - ☞TGALは、フランクリン・テンプレートン・グループの主要な運用会社の1つであり、米国でグローバル株式の運用会社として草分け的な存在であるテンプレートンの投資理念を受け継いでいます。
 - ☞テンプレートン ブランドの代表ファンドである「テンプレートン・グロース・ファンド」は、米国投資信託業界初のグローバル株式ファンドとして1954年に設定されました。

※3つの投資対象ファンドの組入れは、投資対象ファンドの資金動向や資産状況等を勘案して行います。
- 2** 投資対象ファンドは、あらかじめ特定の業種、国、地域等への投資配分を定めず、ボトム・アップアプローチによって世界各国の株式に投資します。組入銘柄は、株価がテンプレートンの投資理念に基づいて評価した企業価値を下回る銘柄の中から選定されます。

 - ☞投資対象ファンドが組み入れる株式は、新興国市場の株式を含みます。
 - ☞市場の状況によっては、純資産総額の25%を限度として世界各国の債券等を組み入れることがあります。
- 3** 当ファンドの外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わないこととします。

<主な投資リスク> 当ファンドの投資にあたっては、主として下記のようなリスクが想定されます。

当ファンドの運用により生じた利益および損失はすべて投資家の皆様に帰属します。取得申込者は、当ファンドのリスクを認識することが求められます。(なお、当ファンドのリスクは以下に限定されるものではありませんのでご注意ください。)

1.価格変動リスク	<p>○有価証券等の価格変動リスク:当ファンドは、投資信託証券(投資対象ファンド)への投資を通じて世界各国の株式などの値動きのある有価証券等に投資します。したがって、当ファンドの基準価額は、当ファンドおよび投資対象ファンドが組入れたこれら有価証券等の市場価格の変動による影響を受けます。</p> <p>○為替変動リスク:外貨建資産への投資を行う場合には、為替相場の変動による影響を受けます。当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは米ドル建てです。当ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動の影響を受けます。また、投資対象ファンドは、世界各国の有価証券等に投資しますので、投資対象ファンドの基準価額は、為替相場の変動の影響を受けます。</p>
2.流動性リスク	<p>市場規模や取引量が少ない場合、組入有価証券等を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があり、不測の損失を被ることがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額はその影響を受けることがあります。</p>
3.信用リスク	<p>当ファンドおよび投資対象ファンドが保有する有価証券等の発行体および有価証券等の取引の相手方の経営・財務状況の変化ならびにそれらに関する外部評価の変化等により、損失を被ることがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額はその影響を受けることがあります。</p>
4.カントリーリスク	<p>世界各国の金融・証券市場への投資は、それらの国・地域の政治、経済および社会情勢の変化等によって市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな制限や規制が設けられた等の場合には、運用上の制約を受ける可能性があります。このような場合に、当ファンドの基準価額はその影響を受けることがあります。また、新興国の金融・証券市場への投資には、政治・経済構造が先進国と比べ不安定であるため、投資環境の急変により市場が混乱した場合や取引に対して新たな制限や規制が設けられた場合、運用上の制約を大きく受ける可能性が想定されます。このような場合に、当ファンドの基準価額はその影響を受けることがあります。</p>

※その他、ご投資にあたっては、ご留意事項がございますので投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<投資信託ご購入時の注意点>

- 当ファンドは、投資信託証券(投資対象ファンド)への投資を通じて、主として世界各国の株式に投資を行います。当ファンドの基準価額は、投資信託証券(投資対象ファンド)および投資信託証券(投資対象ファンド)の組入れた有価証券等の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託証券(投資対象ファンド)および投資信託証券(投資対象ファンド)の組入れた有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は預金等ではなく、預金保険機構の保険金の支払対象ではありません。
- 投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の補償対象契約ではありません。
- 投資信託は元本は保証されていません。
- 登録金融機関は、金融商品取引業者とは異なり、投資者保護基金に加入していません。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメント株式会社作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面」および「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

<お申込みメモ> (お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

信託設定日	2007年2月23日
信託期間	原則として無期限 ※ただし受益権の残存口数が5億口を下回ることになった場合、受益者のために有利と認められる場合、やむを得ない事情が発生したとき等は、信託を終了する場合があります。
取得のお申込み	原則としていつでもお申込みいただけます。ただし、ニューヨーク証券取引所またはニューヨークにおける銀行の休業日には取得のお申込みの受付を行いません。※取得申込みの受付は、原則として午後3時までとします。ただし、受付時間は販売会社によって異なることもありますので、ご注意ください。なお、これらの受付時間を過ぎてからのお申込みは翌営業日の取扱いとなります。
お申込単位	販売会社が定める単位です。
お申込価額	取得申込受付日の翌営業日の基準価額です。
収益分配(決算)	11月28日(ただし、休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。「自動けいぞく投資コース」の場合には、原則として分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。
ご換金の請求	原則としていつでもご換金の請求ができます。ただし、ニューヨーク証券取引所またはニューヨークにおける銀行の休業日にはご換金の請求の受付を行いません。※ご換金の請求の受付は、原則として午後3時までとします。ただし、受付時間は、販売会社によって異なることもありますので、ご注意ください。なお、これらの受付時間を過ぎてからのご換金の請求は翌営業日の取扱いとなります。
ご換金単位	1口単位です。
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額です。
ご換金代金のお支払い	換金請求受付日から起算して、原則として、5営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。 ※個人の投資家の場合です。法人の投資家の場合には異なる税金の取扱いとなります。 ※税法が改正された場合には、上記の内容が変更になることがあります。

【お客様には以下の費用をご負担いただきます。】

■お申込時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料率	取得申込受付日の翌営業日の基準価額に、3.675%(税抜3.5%)を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額です。 なお、「自動けいぞく投資コース」を選択した受益者が収益分配金を再投資する場合には、お申込手数料はかかりません。 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
---------	---

■ご換金時に直接ご負担いただく費用

ご換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬	ファンドの純資産総額に年1.2075%(税抜1.15%)の率を乗じて得た額です。 ※投資対象ファンドの加重平均運用報酬率は年0.665%程度が上限となります。したがって、当ファンドの信託報酬率と投資対象ファンドの加重平均運用報酬率を合計したものは年1.8725%程度が上限(概算)となります。(運用報酬の他に管理費用等がかかります。)
その他費用	投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、投資信託財産にかかる監査費用、有価証券の保管費用、等を投資信託財産でご負担いただきます。 (その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に金額、上限額等を表示することができません。)

※手数料・費用等には事前に計算できないものがあるため、その合計額等を表示することができません。

<委託会社、その他の関係法人>

委託会社 : フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第391号
加入協会/ 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会

受託会社 : 三菱UFJ信託銀行株式会社
(再信託受託会社 : 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

基準価額等については、委託会社の下記照会先までお問い合わせ下さい。
電話番号 : 03-3535-1299 (9:00~17:00 土・日・祝日および12月31日・1月2日・1月3日を除く)
ホームページ : <http://www.franklintempleton.co.jp/>

販売会社 : お取扱販売会社は次ページの販売会社一覧をご覧ください。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面」および「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

「テンプレートン・グローバル株式ファンド(愛称:株の祭典)」販売会社一覧

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	(社)金融先物取引業協会	(社)投資信託協会	(社)日本証券投資顧問業協会
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○		

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面」および「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

<参考情報> 投資対象ファンドの組入銘柄について

2010年6月末日現在(現地)

銘柄	国	業種	銘柄解説	PER	PBR
ACCENTURE PLC アクセンチュア	米国	ソフトウェア・サービス	経営コンサルティング、テクノロジー・サービス、アウトソーシング・サービスを提供するグローバル企業です。	14.68倍	9.10倍
ORACLE CORP オラクル	米国	ソフトウェア・サービス	ソフトウェア・メーカーであり、企業の情報管理用ソフトを手掛けています。同社の製品には、データベースやリレーショナル・サーバー、アプリケーション開発ツール、意思決定支援ツール、業務用アプリケーションなどがあります。	15.55倍	3.50倍
MICROSOFT CORP マイクロソフト	米国	ソフトウェア・サービス	世界大手のコンピュータ・ソフトウェア会社で、ソフトウェア製品の開発、製造、ライセンス供与、販売およびサポートを手掛けています。	11.74倍	4.41倍
AMGEN INC アムジェン	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	細胞生物学と分子生物学に基礎を置いた対人治療薬の発見、開発、製造、販売を手掛けるバイオ医薬品メーカーです。分泌たんぱく質と小分子の治療薬や神経科学・癌の分野に注力しています。	10.78倍	2.27倍
PFIZER INC ファイザー製薬	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	世界大手の製薬会社です。循環器系、中枢神経系、感染症、アレルギー系、疼痛・関節系、泌尿器系、眼科系、ガン、内分泌系などの幅広い疾患分野で革新的な新薬を世に送り出しています。	6.69倍	1.28倍
SIEMENS AG シーメンス	ドイツ	資本財	欧州大手の電機メーカーであり、工業向けや消費者向けに様々な製品を製造しています。エンジニアリング関連を含む同社製品は品質・技術の高さに定評があります。	20.55倍	2.27倍
VODAFONE GROUP PLC ボーダフォン・グループ	英国	電気通信サービス	音声・データ通信をはじめとする移動通信サービス会社で、欧州大陸、英国、米国、東アジアで事業を展開しています。	8.46倍	0.89倍
COMCAST CORP コムキャスト	米国	メディア	ハイブリッド光ファイバーによる高速大容量同軸ケーブル通信ネットワークの開発、管理、運営を手掛けるケーブルテレビ事業会社です。プログラミングコンテンツ(番組内容)も提供しています。	14.48倍	1.14倍
SANOFI-AVENTIS サノフィ・アベンティス	フランス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	処方薬メーカーで、循環器系や中枢神経系の疾患、内科的疾患や腫瘍用の治療薬を生産しています。また、肺動脈高血圧用治療薬、うっ血性心不全用治療薬、良性前立腺肥大症用治療薬なども手掛けています。	12.29倍	1.35倍
GLAXOSMITHKLINE PLC グラクソ・スミスクライン	英国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	ワクチン、処方箋、市販薬、その他個人向け医療関連商品を開発、製造、販売する医薬開発グループです。ラボ検査、疾患予防サービスのほかに、呼吸器系、中枢神経系、消化器系、遺伝子障害の治療も手掛けています。	10.10倍	5.56倍
NOVARTIS AG ノバルティス	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	治療薬、後発医薬品、病気の予防のためのワクチン・診断技術、消費者向けの一般医薬品、コンタクトレンズ、動物用医薬品など幅広い分野の医薬品および消費者用ヘルスケア商品を製造しています。	11.85倍	2.02倍
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS LTD シンガポール・テレコム	シンガポール	電気通信サービス	通信システムとサービスを提供し、郵便や電話帳での広告、刊行も手掛けています。通信機器の販売とメンテナンス、携帯電話サービス、コンピューターネットワーキング、インターネットとITサービスなど多角的に事業を展開しています。	12.39倍	2.06倍

※当資料は、各投資対象ファンドの組入上位10銘柄について、各企業のホームページ、Bloomberg等の情報を基にフランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成しました。組入銘柄が重複している場合は記載を省略しております。

※業種分類は、スタンダード&プアーズとMSCIが共同で開発した「世界産業分類基準(GICS)」の24の産業グループを使用しております。

※PER(株価収益率)・PBR(株価純資産倍率)は、Bloombergのデータを使用しております。

※当資料は、投資対象ファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的として作成したものであり、特定銘柄の売買等の推奨をするものではありません。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面」および「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。